

## ○消防庁告示第四号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の三第五項の規定に基づき、平成元年消防庁告示第四号（消防用設備等試験結果報告書の様式）の一部を次のように改正する。

令和八年三月六日

消防庁長官 大沢 博

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

別記様式第5 泡消火設備 ①

試験項目		種別・容量等の内容	結果
自動警報装置	音響警報装置	_____	
	火災表示装置	_____	
防護区画の開口部 (高発泡に限る。)	開口部の措置	_____	
	自動閉鎖装置を設けない開口部の構造	_____	
貯蔵槽等	貯蔵槽	設置場所	
		消火剤の適合性	_____
	混合装置	機器貯蔵量	L
		圧力計の指示	MPa
設置場所			
耐震措置	種別	たん白・合成界面活性剤・水成膜 (泡第 _____ 号)	
	性能	希釈容量濃度 _____ %	
試験	泡消火栓	設置場所	
		周囲の状況・操作性	
	周囲の状況	開口弁設置高さ	床面からの高さ _____ m
		ホース接続口	_____
	設置状況	周囲の状況	_____
		材質等	_____
	表示灯	表示	_____
		表示	_____
	ホース接続口	ホース(結合金具を含む)	_____
		ホース接続口	_____
結合状態	ノズル	_____	
	結合状態	_____	
取納状態			

別記様式第5 [同左]

試験項目		種別・容量等の内容	結果
自動警報装置	音響警報装置	_____	
	火災表示装置	_____	
防護区画の開口部 (高発泡に限る。)	開口部の措置	_____	
	自動閉鎖装置を設けない開口部の構造	_____	
貯蔵槽等	貯蔵槽	設置場所	
		消火剤の適合性	_____
	混合装置	機器貯蔵量	L
		圧力計の指示	MPa
設置場所			
耐震措置	種別	たん白・界面活性剤・水成膜 (泡第 _____ 号)	
	性能	希釈容量濃度 _____ %	
試験	泡消火栓	設置場所	
		周囲の状況・操作性	
	周囲の状況	開口弁設置高さ	床面からの高さ _____ m
		ホース接続口	_____
	設置状況	周囲の状況	_____
		材質等	_____
	表示灯	表示	_____
		表示	_____
	ホース接続口	ホース(結合金具を含む)	_____
		ホース接続口	_____
結合状態	ノズル	_____	
	結合状態	_____	
取納状態			

別記様式第 38 特定駐車場用泡消火設備 ④

試験項目		種別・容量等の内容	結果
自動警報装置	音響警報装置	—	
	火災表示装置	—	
減圧	措置	有 ・ 無	
		設置場所	
	泡消火薬剤貯蔵	設置場所	
		泡消火薬剤の適正貯蔵量	L
	泡消火薬剤貯蔵	圧力計の指示	MPa
		設置場所	
	泡消火薬剤貯蔵	混合方法	—
		構造・性能	—
	泡消火薬剤貯蔵	種別	(泡第 号) ~ (泡第 号)
		性能	希釈容量濃度 %
試験等	設置場所	—	
	設置場所	—	
混合試験	設置場所	—	
	設置場所	—	
設置試験	設置場所	—	
	設置場所	—	
耐震	設置場所	—	
	設置場所	—	
制御盤	周囲の状況・操作性	—	
	設置状況	—	
制御盤	構造・性能	—	
	操作部	—	
制御盤	操作部	—	
	予備部品等	—	

別記様式第 38 [同左]

試験項目		種別・容量等の内容	結果
自動警報装置	音響警報装置	—	
	火災表示装置	—	
減圧	措置	有 ・ 無	
		設置場所	
	泡消火薬剤貯蔵	設置場所	
		泡消火薬剤の適正貯蔵量	L
	泡消火薬剤貯蔵	圧力計の指示	MPa
		設置場所	
	泡消火薬剤貯蔵	混合方法	—
		構造・性能	—
	泡消火薬剤貯蔵	種別	(泡第 号) ~ (泡第 号)
		性能	希釈容量濃度 %
試験等	設置場所	—	
	設置場所	—	
混合試験	設置場所	—	
	設置場所	—	
設置試験	設置場所	—	
	設置場所	—	
耐震	設置場所	—	
	設置場所	—	
制御盤	周囲の状況・操作性	—	
	設置状況	—	
制御盤	構造・性能	—	
	操作部	—	
制御盤	操作部	—	
	予備部品等	—	

備考 表中の「」の記載は注記しぬ。

## 附 則

この告示は、公布の日から施行する。